

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 学校集金（学年費・旅行貯金）事務への積極的関わり

【背景と目標】 本校赴任時、予算書の作成はなく、公費で支払えそうなものも学年費からの支出があり、業者への支払いも滞り気味で、先生方の意識も低いことを感じた。このような状況から、学校集金事務を事務室で担当することを提案し、担当している。

【H31.1.25中教審答申 学校及び教師が担う業務の明確化・適正化
「基本的に学校以外が担うべき業務 学校徴収金の徴収・管理」】→
学校組織における唯一の総務・財務等に通ずる専門職

【協働・取組】 学校集金事務については、地区の事務研究会（共同学校事務室）の中でも研究の1つとして取り上げ、公費予算化できるものはないか（保護者負担の軽減）、中学校区で統一できることはないか、支出何など帳票の統一化などの研究を行っている。

【成果と課題】 学校集金事務が教員の手から離れ、業務改善にはつながっている。また、事務室で公費・学年費等、校内のお金が把握でき保護者負担の軽減につながっている。
一方で、経験を積んだ私だからできた取り組みでもあり、後任が経験の浅い事務職員になった時、すべてがそのまま引き継げるかは難しい。

【教訓】 教員の働き方改革は一方で事務職員の業務負担増につながることもある。いかに事務職員の業務を効率化し、学校運営に参画していくかが課題である。

(参考例)

- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
- ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
- ③ 環境整備の実践
- ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
- ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

- | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| ① 実践の自分の満足度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 実践への周りの反応 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |